

ある取り調べ

お願いですから、

私を死刑にしてください。

脚本 中西良太

村橋明郎 監督作品

うっとうしい雨が降り続くある日、
妻と息子を殺害した容疑で連行されて来た男の、それが最初の言葉だった。
男は自分が殺した妻子のもとへすぐにでも行かせてくれと必死に懇願する。
そんな男を取り調べることになったベテラン刑事。
彼もまた鬱病の妻を抱え、家庭崩壊の危機に直面していた。
立場は正反対だが、追い詰められている事では同じだった。
そんな二人が葛藤しつつ、狭い取調室の中で行き詰まるような時間が流れていく。
そして明らかになってくる事件の真相とは……



佐藤 B 作



中西良太



斉藤陽一郎



制作ノート

シナリオを最初に読ませてもらった時は、なんだか暗い話だなというくらいの印象しかなく、中西さんには感想も返さず、まるでなかったことのように時間が過ぎていた。そして、何年か過ぎたある日、何気なく手に取り読み返してみた。

あれ、いけるんじゃないの?! 何かが閃いた。

この時はまだちゃんと映画になるのかは確信が持てなかったが、中西さんと脚本を何度も直した。やがてお互いに行き詰まり、企画自体を諦めようと考えたこともあったが、最後の手段のように、回想シーンを全部カットした脚本にしてみた。「これならやれる」やっとな確信に近いものが見えて来たのは、最初に中西さんに「映画化を考えたい」と伝えてから半年以上も過ぎていた。そのシナリオを佐藤B作さんに読んでもらい、すぐに「やりたい」という返事をもたらしたところから一気に映画化が加速して行った。撮影の富田伸二と美術の山下修待は、次の作品はこの二人だと決めていたので、最初に声をかけた。極めて低予算の自主制作だが、二人とも快く引き受けてくれて、いろんなアイデアを出してくれた。撮影シーンは雨の実景を除くと、警察の廊下と取調室のみ、カメラを2台にして効率よくやれば三日で撮れるんじゃないかと考えていたのだが、このスタッフとキャストに三日間は必要なかった。都内の貸しスタジオを三日押さえ四日目を予備に考えていたが、撮影は二日間間で終わってしまった。決して手を抜いたり、無謀なことをやったわけではない。映画が好きで、いい映画を創りたいといつも考えている働き者たちが集まってくれたからだと思っている。ここ数年で映画のシステムが大きく変わって来た。だが、人間を描くのが映画だという気持ちは変わらない。家族に迷惑をかけながら「撮りたいものが撮れない」と嘆く前に、行動を起こす勇気とパワーが大事なのだと自分自身が教わった作品になった。

後は観ていただいた観客のみなさんが、この映画を育ててくれることを期待して……。

監督 村橋明郎

取調室

生きていかなきゃ……

どんなにつらい人生でも

取調室の中だけで繰り広げられる密室劇

ある取り調べ

出演 佐藤B作
中西良太
斉藤陽一郎

西歩美、村田一晃、大迫右典、中田浄

製作 村橋明郎
脚本 中西良太
撮影 富田伸二、高橋正信、藤田朋則
照明 大町昌路
録音 関根光昌、中山寿範
美術 山下修待、中村敬介
衣裳 高橋英治
メイク 花村枝美
制作助手 村橋菜保子
編集 吉澤朋輝
音楽 田尻光隆
監督 村橋明郎

(2015年 / 日本 / カラー / 90分)

第5回死刑映画週間「殺されていく命」関連企画 特別上映決定!
2月20日(土)→2月26日(金) 連日午前10時30分より

当日料金: 一般 1,500円 | 大学生・専門学校生 1,300円 | 会員・シニア 1,100円 (税込)
特別鑑賞券(1,000円)をユーロスペース劇場窓口にて販売中!

初日舞台挨拶などを予定しております。詳しくはユーロスペース劇場HPをご覧ください。

ユーロスペース

EUROSPACE

渋谷 Bunkamura 前交差点左折
(渋谷区円山町 1-5 KINOHAUS3F)

03-3461-0211 www.eurospace.co.jp